

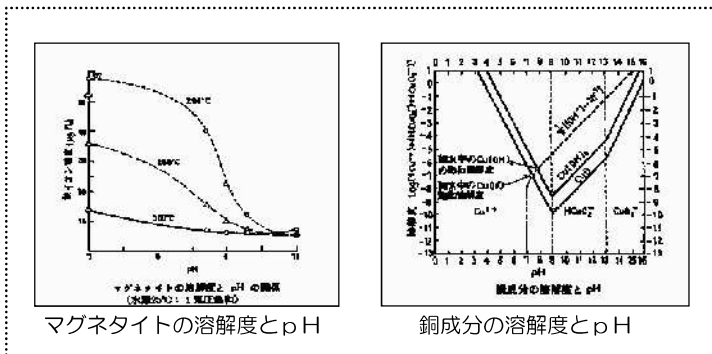
ボイラ水質管理基礎研修

【受講レベルの目安】

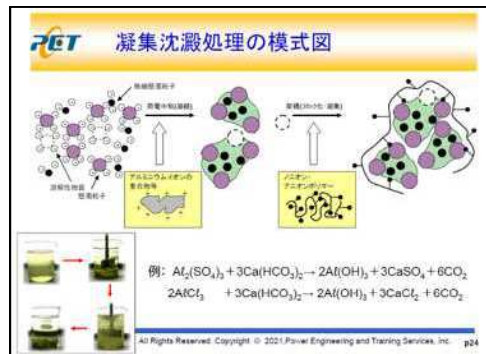
- ボイラの運転または保守の経験者（1年以上）
- 水質管理を基礎から学習したい方

ボイラ給水の水質管理がなぜ必要か、どのような管理をすればよいかわかります。

- ボイラ給水の管理はボイラのトラブルを防ぐ上で不可欠です。
- 管理基準や、水質処理技術、サンプリングの箇所、タイミング等を学習できます。
- 水質分析映像、実習等を通じて、ボイラ水質分析、水処理方法を理解できます。



理論に基づく各種現象の理解



給水処理方法の理解



水質管理実習



トラブル原因・対策の理解

カリキュラム

日程	カリキュラム	内容
1日目	水質管理の概要	水質管理の目的、一次・二次給水処理の方法、水質管理基準値および分析項目・頻度、海水冷却システムの水処理について学習
	水質管理【実習】	水質分析映像、凝集沈殿模擬実習を通して学習
2日目	水質基準値	水質管理の基準値の考え方と基準例の学習
	給水処理設備	カットモデル映像などを用い、給水処理に関する設備の構造を学習
	水に起因する障害と対策	主な障害であるスケール、腐食、キャリアーバ、ぜい化等について原因と対策を学習

研修教材

教材名	仕様
手分析器具	ガラス器具、ジャーテスター（MJS-4P）
設備映像	各設備カットモデル（75,000kW級発電設備）